



各務小学校木造校舎（鳥居進氏撮影）

企画展 各務原市内小学校の歩みと 鵜沼第一小学校資料館収蔵資料の展示

明治のはじめ各務原地域では、新々義校（鵜沼村）・和親舎（伊吹村）・洗心舎（長塚村）など七つの小学校が誕生しました。それらの学校は尋常小学校を皮切りに戦後の6・3制の改正を経て現在17校となっています。明治から令和までの歩みを振り返ります。

また、明治6年(1873)鵜沼宿で誕生した新々義校はその後の変遷を経て現在、鵜沼第一小学校となりました。その資料館には創立以来の1000点を超える教科書類が収蔵されています。昭和20年の終戦を境に教育内容は大きく変わりました。それらがどう変わったのか本企画展を通じ改めてこの150年を振り返ってみたいと思います。



明治時代の教本



1年生国語教科書・大正7年



終戦直後の墨塗り教科書・昭和20年

（いずれも鵜沼第一小学校資料館収蔵）

期間：令和7年8月20日(水)～9月2日(火)8:30～17:15

会場：各務原市役所低層棟1F 市民交流スペース

（各務原市那加桜町 1丁目69番）

トークイベント開催(受付時間 13:00～)

8月24日(日)13:30～15:00 会場:各務原市役所低層棟 1F 市民交流スペース

講演：中山道鵜沼宿ボランティアガイド足立勘二氏「私の小学生時代」

対談：鵜沼第一小学校 小嶋隆弘校長先生 & 足立勘二氏

主 催:中山道鵜沼宿ボランティアガイドの会

後 援:各務原市教育委員会

連絡先:090-5628-6569(可児)

中山道鵜沼宿ボランティアガイドの会:団体概要
中山道鵜沼宿の街道及び宿場内の文化財や諸施設への来訪者に対しボランティアとして案内を行うことを目的に活動しています。また、各務原市内の史跡及び伝承等、貴重な歴史遺産を紹介するための史跡巡りコースの案内を行っています。